介護サービス相談員だより

2026 年 1 月 **第 31 号**

連絡先：介護サービス相談員事務局
四日市市　高齢福祉課
電話　３５４－８１７０
FAX　３５４－８２８０

介護サービス相談員は、介護サービス事業所を訪問し、利用者からサービスに関する要望・不満・相談をお聞きし、事業所へと伝えることでサービスの向上へとつなげる役割をしています。現在、１９名の相談員が市内約 130 か所の事業所を訪問しています。どうぞお気軽にご相談ください。

介護サービス向上連絡会（研修会）

介護サービス相談員に加え、派遣事業所の方々にも参加していただき、

“様々な視点”で、認知症について学んでいます。（派遣事業所の方々はオンライン参加も可能！）

1．令和６年８月
“当事者視点”で認知症についての理解を深め、「新しい認知症観※」について考えるきっかけとなった！

2．令和７年１月
“家族視点”で認知症当事者への想いや、家族ならではの苦難について知り、第三者の支援の大切さを学んだ！

3．令和７年８月 ←― NEW！

“今後の認知症施策観点”で「認知症フレンドリーなまちの実現」に向けた取組みを知ることが出来た！
さらに「自分達はなにができるか」と考える機会となった。



※「新しい認知症観」とは
認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・ やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方。

介護サービス相談員の一日（活動）

介護サービス相談員の１日を紹介します！



月に数日、半日で終わるなら、
自分の時間も確保できるね♪

自宅出発
AM9：30



活動終了
PM12：00



事業所到着
活動開始
AM10：00



認知症サポーター養成講座を受講して

四日市市北地域包括支援センター主催の認知症サポーター養成講座を受講して
四日市市において、中学生の人数よりも認知症の方の人数の方が多いとのこと。
認知症当事者の方が増加しているのが良く伝わりました。

DVD で若年性アルツハイマー型認知症当事者の方から、経緯や現状について話を聞きました。
会社勤めの時、頼まれた仕事を忘れることが徐々に増えたことがきっかけで、認知症とわかったそうです。
今ではステップ四日市にて園芸等をすることに加えて、四日市市の認知症フレンドリー大使もされているそうです。
認知症当事者の方が安心して暮らせる様に社会として認知症への理解が深まるように、困っている方の役に立ちたいと思い活動されているそうです。
力強い言葉を聞くことができ、身が引き締まりました。

事業所で働く外国人スタッフをご紹介



介護事業所には外国人スタッフの方も働いています。
今回は利用者に対してとても丁寧に、そして優しく接している印象を受けた
プトゥ　アユ　シンティア　クスマ　デウィさん（四季の郷富田）に話を聞いてみました。



出身の国、来日してからの期間について教えてください。

インドネシアから技能実習生として来日し、１年半が経ちます。

非常に日本語がお上手ですが、どこで勉強されたのですか。

現地の日本語学校で勉強しました。

文化の違いにより困ったことがあれば教えてください。

やはり宗教の問題です。ヒンズー教のため牛肉を食べられない為、食事面で困ったことがありました。

日本についてどう思いますか。

技能実習生のため３年働いたら母国へ帰ることになりますが、また日本に来たいと思うほど大好きです。
花火大会や祭り等に出かけられた楽しい思い出もたくさんあります。

最後に他の事業所で働く外国人スタッフに一言お願いします。

母国へ帰りたいと思うこともあるかもしれません。でもそれは日本語が上達することで解決することもたくさんあります。
それぞれの事業所で色々な経験をして楽しく過ごしていきたいですね。

介護サービス相談員メンバー



✻ 編集後記 ✻

事業所におかれましては、我々介護サービス相談員を快く受け入れてくださり、誠にありがとうございます。

また利用者への真摯な対応や、様々な行事により利用者の笑顔を作り出そうとする姿勢に、日々感銘を受けております。

我々介護サービス相談員の主な活動としては、「利用者の声に耳を傾ける」ことです。

利用者の日々の生活において「大きな声で発するほどではないけれど、誰かに聞いてもらいたい。」そんな思いに寄り添うことが出来るように、様々な研修を受けております。

また認知症フレンドリーな四日市市を目指して、我々も認知症観のアップデート（「新しい認知症観」）をするために、令和６年度からは認知症についての勉強を一層進めているところです。

今後も事業所と力を合わせて利用者にとってより良い時間となるように、自己研鑽を続けながら利用者様の声に耳を傾けていきたいと思います。



広報委員

舘初美・生川郁子・矢田美千代

佐藤房子・位田順子